

国際医療福祉大学大学院公開講義

「ゆりかご15年」いのちの場所

～記者として、部長として、そして今～



日本医学ジャーナリスト協会賞大賞作品

熊本日日新聞社

編集局次長・地域報道本部長 田端美華



このようにゆりかごの相談窓口で、熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。

熊本市・慈恵病院

「ゆりかご」運用開始

相談「窓口」シンボルに

熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。

熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。

検査4年連続「A」

車軸含む全項目

熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。

首相、重ねて批判

熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。熊本市・慈恵病院の医師と相談している。

自己紹介※詳細略

- ・現場の記者として「ゆりかご」開設当時を取材。先進地のドイツも訪問
- ・2022年、文化生活部長時代に「ゆりかご15年 いのちの場所」取材班代表として年間企画を指揮
- ・現在は、ニュース部門を統括する地域報道本部長として紙面を制作

日本医学ジャーナリスト 協会賞大賞



本紙「ゆりかご15年」表彰



日本医学ジャーナリスト協会賞大賞を受賞し、記念品を受け取る熊日の田端美華地域報道本部長(右)13日、東京都千代田区

日本医学ジャーナリスト協会賞大賞

日本医学ジャーナリスト協会(浅井文和会長)は13日、慈恵病院(熊本市)が2007年に設置した「ここのゆりかご」(赤ちゃんポスト)を巡る諸課題を報道した熊本日新聞に、23年度の日本医学ジャーナリスト協会賞の大賞を贈った。

日本プレスセンター(東京都千代田区)で13日夜、授賞式があり、取材班代表の田端美華・地域報道本部長が表彰状と記念品を受け取った。記念シンポジウムで、田端本部長は関連法整備などの課題を挙げ「これから地域で報道を掘り下げて、全国に発信する地方紙の役割を果たしていきたい」と強調した。

熊日はこれまでの取材による蓄積を基に22年3月、23年4月、連載「ゆりかご

15年 いのちの場所」を7部構成で計50回掲載。病院の担当者の方に身分を明かす「内密出産」や「出目を知る権利」を主要テーマに、「ゆりかご」に預けられた子どもと預けた母親から丹念に話を聞いた。今年2月には、企画の総括として行政や医療関係者を招いてシンポジウムを開き、異論を交えて解決策を議論した。選考委員長の大熊由紀子・元朝日新聞論説委員は「記者が15年間、バトンを渡して仕事をすることがすごい」と講評した。

協会賞は医学・医療ジャーナリズムの質向上を目的に12年に創設。12回目となる今回は、E・T・V特集「ルポ 死亡退院 精神医療・闇の実態」(NHK)も大賞に選出された。

(高宗亮輔)

「ゆりかご」に預けられて ある青年の告白

特別養子縁組した両親
と共に(1面掲載の写真から)

「ゆりかごの後も、人生
は続いていく。そっちの
方が、ずっと長いし、大
切なんじゃないでしょ
うか」



「こうのとりのゆりかご」とは

- 慈恵病院 (熊本市) が2007年5月に開設
- 扉を開けるとブザーが鳴り、看護師が駆け付ける仕組み
- 2023年度までに179人が預け入れ (最も多い年は08年の25人)
- 自宅や車中などでの出産 (孤立出産) は半数以上の94人
- 父母の居住地は熊本県14人、熊本を除く九州は41人、関東は29人、中部18人、近畿16人、東北3人、四国・北海道各1人)
- 不明は44人
- ※新幹線などを乗り継ぎ、長距離移動するケースが目立つ



「内密出産」とは

○病院の担当者だけに身分を明かして出産する制度で、ドイツがモデル

○2019年12月に慈恵病院が独自に導入

○21年12月に初めて出産があり、23年6月までの内密出産は通算14例

○23年8月には内密出産で生まれた子ども1人について養親と法的に実の親子となる特別養子縁組が初めて成立

妊娠・出産相談

- ・熊本市の相談窓口にて、2023年度は前年度比2・5倍の2585件。望まない妊娠や未婚など「思いがけない妊娠」は833件

※このうち、23年4月開設の「妊娠内密相談センター」に666件

- ・慈恵病院の相談窓口には、前年度比4割減の1643件

「ゆりかご」の2023年度運用状況

・預けられた人数9人

※男児4人、女児5人

※生後1カ月未満の新生児7人

※生後1年未満の乳児1人

※生後1年～就学前の幼児1人

※低体温や低体重で精密検査2人（命に別状なし）

※父母らの居住地（県内1人、中部・関東各2人、不明4人）

※生まれた場所（自宅4人、医療機関3人、不明2人）

「特定妊婦」も過去最多

- ◆ 特定妊婦とは 予期せぬ妊娠や経済的課題などで出産前から支援が必要な妊婦
- ◆ 2023年度は熊本市で最多の75人
- ◆ 内訳は「発達・精神・知的面などでの課題」47人、「経済的課題」43人、「未婚・ひとり親」38人
- ◆ 妊娠内密相談センター開設で、登録増える

連載で報じたこと

- 7部立て計50回掲載。いずれの部も初回と面、続きの本文と社会面トップ記事で掲載
- 第1部で宮津さんの生い立ち
- 第2部と3部でゆかごに預けた母親たち
- 第4部「出自を知る権利」
- 第5部「内密出産」
- 第6部でフランスの匿名出産、ドイツの内密出産の現状
- 第7部血のつながない「家族」
- エピローグ 宮津さんの思い

心打ち明け「私が育てたい」

慈恵病院 熊本市西区の
「この丁のゆりかご」赤
ちゃんポスト」にたどり着
いたアオイさん。仮名は、
赤ちゃんを抱いて扉の前に立
った時、相談を呼び掛ける音
板を見つけた。「相談できる
なら、こんな所まで預けて来
ない」と目を善けた。
扉を開けると、お父さん、

お母さんへ」と書かれた手紙
が目に入った。その手紙は
触れず、赤ちゃんをベッドに
置いた。急いで立ち去ったと
した時、看護師から呼び止め
られ、病院内の相談室に案内
された。
「今この離せな」。アオ
イさんは腹をくくって目を
明かし、自らしていないに

妊娠した自分を恥じたこと、
出産後に赤ちゃんへの愛情が
湧いたこと、離れたいと、
2人をおくことまで思ったこ
と、何かかも打ち明けた。
心打したのは当時看護部長
だった田原貴子さんだ。
「今後、どうしたい」と聞
かれ、アオイさんは「私が育
てたい。卒業して仕事に就
いたら一緒に暮らしたい」と本
音を漏らした。自分のしたこ
とを責められると思ったが、
「手伝ふ」と励まれ、全
身の力をこめて

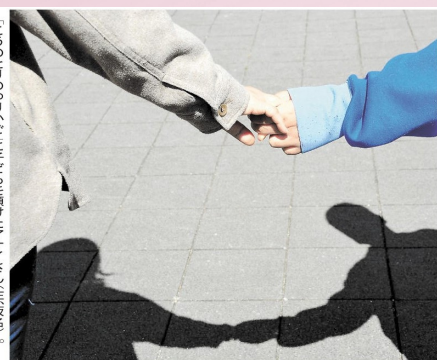
その時、診察のなみ別室に
連れて行かれた赤ちゃんの泣
き声が聞こえてきた。アオイ
さんは泣き止んだ。「うん、
罪悪感ものすくなくあつて
ぼろ泣きました。でも、ほ
うとした気持ちもあつたん
です」
打ち明けたことで、家族に
話せる勇気も湧いた。地元へ
帰って切り出すと、離婚して
別居していた母親はアオイさ
んを責めたが、父親の反応は
予想と違った。腹がゆる
み、と想っていた「一切怒ら
ず」「七つを幸せにするた

め、おまえががんばらないと
な」と言ってくれた。父親は
慈恵病院で赤ちゃんと対面す
ることになった。抱っこし
て、名前を覚え始めるとい
う。アオイさんは赤ちゃんを
預けた地元の乳児院に預け、
中部地区の専門学校に戻っ
た。赤ちゃんを育て取るため
に、1年余り猛勉強して卒業
した。その間、父親が乳児院に通い、
赤ちゃんの写真と動画を撮影
してアオイさんに送り続け
た。

「子ども成長の様子か
つれなかった。それが、赤
ちゃんを引き取るまでのモチ
ベーションだった」とアオイ
さんは振り返る。卒業後、地元
に就職を決めると、乳児院に
たびたび会いに行った。面会
や外泊を重ねて親子の関係を
構築。数年後、親子一緒に暮
らしが実現した。

初めての子育ては当初、
まへいかなかった。「ちゃん
としなきゃダメ」が口癖で
て。子どももろかったと思
う。と後悔する。しかし、今
は愛着を育んで、2人でゲー
ムを楽しめるようになった。近
くに暮らす父親が大きな支え
になっている。

「ゆりかご」に預けた当時
で呼び止められて良かった。
とアオイさんは思っている。
「私は『ゆりかご』で声を
掛けられ、父親の支えもあ
ったから、子どもと一緒に暮
らす人生を歩むことができた。
でも、そうじゃなかったら今
の明るい未来はなかったかも
しれない」
（ゆりかご13年「取材班」）



今は赤ちゃんとゆりかごにたどり着いたアオイさん。仮名。

たどり着いて

母たちの思い

②

2022.4.29

連載「いのちの場所」について、ご意見や感想をお寄せください。〒860-8506、熊本
日新聞社文化生活部。ファクス096(361)3290、メールはkurashi@kumanichi.co.jpまで。

いのちの場所 ゆりかご15年

第2部

連載で伝えたこと

子どもや母親 当事者の思い

- ◆ 宮津さんはあくまで「159人の中の1人」
- ◆ 自宅出産の過酷さ
- ◆ 出産間際の長距離移動
- ◆ 相談の大切さ
- ◆ 出自を求める気持ち
- ◆ 真実告知の難しさ

病院や施設 支える側の思い

- ◆ 「匿名でないと救えないのか」
- ◆ 「名前を隠したままではしっかりした支援につなげない」
- ◆ 「内密出産」という選択は最適解か
- ◆ 出自の情報が分からないまま養育にあたる施設の苦悩
- ◆ 模索続くフランス、ドイツ

ワッペン報道で伝えたこと

- ◆ 預け入れ後 半数は特別養子縁組に
- ◆ 産婦人科医、小児科医が見る「ゆりかご」「内密出産」の課題
- ◆ 映画「ベイビー・ブローカー」。是枝裕和監督の思い
- ◆ 映画の舞台となった韓国版「ゆりかご」の現状を紹介
- ◆ 地域で支える妊産婦の心 精神科との連携進める大分県の取り組み
- ◆ 子ども政策担当相へのインタビュー 政治の役割は

当事者ら集めシンポジウム

- ◆ 子どもへの支援は
- ◆ 当事者「出自が分からないのも出自」「今後の15年は当事者が語るべきだ」
- ◆ 出自分からぬ子 養育困難「命最優先で、思考停止になっていないか」
- ◆ 困窮妊婦を救うには
- ◆ 駆け込み寺 匿名性が必要
- ◆ 社会的連携ない内密出産
- ◆ 検証しあう場 職種横断で



記者たちの思い



林田賢一郎記者



清島理紗記者



志賀茉里耶記者

【林田記者】ゆりかごはその匿名性ゆえに賛否が分かれるが、「目の前の母子を支えたい」という関係者の思いは同じ。「母親の願いと、子どもの思い両方を追い求めるは不可能ではない」。制度を見直しながら前に進むフランス、ドイツの福祉関係者の言葉は参考になると思う。

【猪島記者】児相職員の「ゆりかごは、女性だけが出産の責めを追う社会の価値観を追認しているのではないか」という問いかけが忘れられない。事例の半数以上が「孤立出産」で、女性は命懸けの行動を強いられている。一方で男性の影はあまり見えない。ゆりかごはジェンダーギャップや性教育の不足など多くの社会問題を映す象徴だと思う。15年たって、宮津さんが声を上げたことで、他県の男子中学生も取材に応じてくれた。「生みの母に会いたい」と伏し目がちにつぶやいた少年の表情に胸を打たれた。今後も“第一の主人公”である子どもの声に耳を傾けていきたい。。

【志賀記者】生後間もなく電話ボックスに置き去りにされた20代の男性取材した。実の親に遺棄されたという点ではゆりかごに通じる背景がある。男性は自分の出自を求め、行政機関に開示請求をしたが、結果は「何も分からないことが分かった」。ゆりかごでは「母親の匿名姓」と「子どもの出自を知る権利」が真っ向から対立することがある。時に当事者を置いて議論がヒートアップすることもあるが、当事者の思いや立場に立ち返って、取材することの重要性を感じた。

取材で変わったこと 宮津さんのその後

- ◆ 2022年9月 国が「内密出産」のガイドラインを公表
- ◆ 2023年4月 熊本市が妊娠葛藤相談の専門部署を開設
- ◆ 2023年5月 熊本市と慈恵病院が「出自を知る権利」の検討会を設置
- ◆ 東京で赤ちゃんポストの開設計画が複数浮上
- ◆ 宮津さんが「子ども大学」の開設を公表

ちょっと背伸び 好奇心育んで



【写真】「子ども大学くまもと」で講演した稲葉茂勝さん（中央）。左は宮津航一さん、右は田尻由貴子さん。【同下】講座で小学生に語りかける稲葉さん。3月、熊本県東区



子どもたちが大学キャンパスで授業を受け「子ども大学」が3月、熊本県内で「開校」した。熊本県立大3年の宮津航一さん（20）＝熊本県東区＝と、同市の慈恵病院の元看護部長田尻由貴子さん（74）＝西区＝が立ち上げた「子ども大学くまもと」。子どもたちに少し「背伸び」して講義を受けてもらい、知的好奇心を育んでいく取り組みで、全国でも進んでいる。

宮津さんは幼少期、親が育てられない子どもを匿名で預かる慈恵病院の「こころのゆりかご」に預けられ、熊本市内の養親のもとで育った。生い立ちを2022年3月に公表。その後田尻さんとともに構想を温め、自ら理事長に就いた。

心満たす環境

初回は3月中旬、東区の東海大熊本キャンパスであった。国連開発計画親善大使で俳優の紺野美沙子さんが特別講師。小学生と保護者ら約200人を前に、原爆で息子を失った母親の手記を朗読し、命や平和の大切さを語りかけた。

「命」は宮津さんが、自身の経験からこたわったテーマだ。今後も命の大切さや性教育に関する内容を「いのち学」と呼び、無料講座を開いていく。次回は8月に開く予定で、「家庭環境で差別されることなく、平等に子どもたちの心が満たされる環境を与えたい」と話す。初回の講義で宮津さんは「将来に夢と希望を持ち、自分自身の可能性や視野を広げられる機会を提供したい」とあいさつ。積極的に質問する子どもたちの姿を「活発に議論に参加してくれた」と満足そうに見えた。

人生を変える

子ども大学は08年に埼玉県で始まり、全国で広がっている。「子ども大学くまもと」は、東区を設立したジャーナリストの稲葉茂勝さん（70）も登壇。「大学の教室で大学レベルの授業を受ける。埼玉県には現在近い子ども大学がある」と紹介した。もとはドイツで始まった。子どもにとっては「大人の世界」であるキャンパスに入り、高揚感の中で授業を受ける。専門家も子どもに疑問に丁寧に答える。講義する。「くまもと」では、理科で進む酸化と還元テーマを原爆にまで発展させた。教科書を使った授業にはない「自由さ」を重要視しており、稲葉さんは「わすかしが内容を理解できなかったとしても、その経験が子どもたちの今後の人生を変えるきっかけになる」と強調する。

（丸山伸太郎）

「子ども大学くまもと」開校

命の大切さ 無料講座で

子ども大学

メインテーマは「いのち学」

- ・宮津さん「家庭環境で差別されることなく、平等に子どもたちの心が満たされる環境を与えたい」
- ・田尻さん「ゆりかごがある熊本ならではの取り組みとして、命の大切さを子どもの時から学んで欲しい」

中期検証結果から

- ◆ 第6期(2020～22年度)検証
- ◆ 「子どもの人権、養育環境を整える面から、最後まで匿名を貫くことは容認できない」
- ◆ 8割が身元不明

最後まで匿名「容認できず」

ゆりかご第6期検証 8割が身元判明

熊本市西区の慈恵病院が設置する「ゆりかごのつどい」のゆりかご赤ちゃんポスト」の在り方を議論する同市の専門部会部会長・安部計彦元西南学院大教授は5日、第6期(2020～22年度)の検証報告書をまとめ、大

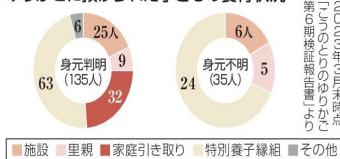
西一史市長に提出した。報告書では、親が育てられない赤ちゃんを匿名でも預かる点を「母子にとって緊急避難として機能」とする一方、「子どもの人権、養育環境を整える面から」最後まで匿名を貫くことは容認できない」と実名を明かせる環境整備を求めた。【3面に関連記事】部会は児童福祉の専門家や弁護士、医師ら5人で構成。検証期間中の運用状況とともに、07年の開設から22年度までに預けられた1

70人の養育状況や運営の課題を検証した。報告書では、匿名性の評価について「援助に結びつける入り口となり得る」としながらも「実親のケアや支援につながらない」と指摘。「子どものアイデンティティや自尊感情の形成には胎生期・幼少期からのストーリーを伝えていくことが重要」とし、子どもの求めに応じ知る権利が担保できる取り組みを求めた。



熊本市の大西一史市長に検証報告書を手渡す安部計彦・専門部会長(左)と安部計彦(右)の姿。5日午前、熊本市中央区(横川千夏)

ゆりかごに預けられた子どもの養育状況



実名、匿名「対立せず支援を」

ゆりかご第6期検証 母子の安全面 懸念



検証報告書について記者会見する大西一史市長(右)＝5日、熊本市役所

5日公表された「ゆりかご」の運用状況を検証する第6期(2020・22年度)の報告書は、匿名での運用について、第5期検証に続き母子の安全面や子どもの出生を知る権利の保障の面で懸念を表明した。一方で「養育者など」「意欲も高まり、実名と匿名を「対立」せず、実親と子ども双方が幸せを感じる」ことができるとも援手求めた。

第6期の期間中に預けられた15人中、自宅などの孤立出産は10人。第4期の86.2%、第5期の70.0%より低下したものの、依然8割を超えている。預け入れ時の子どもの体温33.6度まで下がる危険な事例などでも「緊急対応」に考慮すれば、安全が確保されていると評価することには難いという。

子どものアレルギーや体質、親の病歴や医療的な情報、匿名で親から指摘されない親戚も新たな指摘、診断に重要な情報を病院でできる限り収集するよう求めた。

一方で病院22年度より任意で母親の身元情報聞き取り独自に実施する点を「努力している」とは理解する。一方で、出生を知る権利を議論するため熊本市と病院が25年度5月設

代替策なく「机上の空論」

慈恵病院・蓮田院長が反論



熊本市の門前所にある「ゆりかご」の検証報告書の発表(5日)で、匿名で受け入れられた母子の安全面を懸念する熊本市の市議員(左)と、匿名で受け入れられた母子の安全面を懸念する熊本市の市議員(右)。

懸念した。

専門部会の議論に慈恵病院関係者も加えられていた。院内で院長は「報告書は、相対的預け入れをすすめるという心理を分けて」「匿名で受け入れをすすめるという心理を分けて」と批判した。

出生情報の収集や開示に関する病院の取り組みについて「匿名で受け入れをすすめるという心理を分けて」と批判した。

蓮田院長は、妊娠を知らずでも救済を呼ばないというこれまで病院に寄っていたことを「匿名で受け入れられないままに産まれ、女性に連絡しない」と指摘、病院との連絡が途絶えれば、おなかの赤ちゃんは見失われると

「こうのとりのゆりかご」と内密出産をめぐる動き

2007年 5月	ゆりかご開設
14年 5月	ゆりかごの13年度の利用状況を公表。預け入れが100人を超える
19年12月	慈恵病院が内密出産の運用開始を表明
21年 6月	熊本市が設置する専門部会の第5期検証報告書で、預け入れ前段階で孤立出産が行われている可能性を指摘
22年 1月	慈恵病院が初の内密出産事例を公表
2月	熊本市方法務局が内密出産は「職権で戸籍の作成可能」
5月	蓮田健康院長が参院予算委に参考人として出席。法相・厚労相が内密出産について「違法性はない」
7月	北海道当別町で「第2の赤ちゃんポスト」設置と発表
9月	21年度の「ゆりかご」預け入れ状況を公表。15年間で161人に内密1例目の子ども、里親委託へ
23年 1月	東京都の医療法人が赤ちゃんポスト開設の計画を公表
3月	慈恵病院が市にゆりかごや内密出産の「出自を知る権利」議論を要望
4月	市が妊娠内密相談センターを開設
7月	慈恵病院と熊本市の「出自を知る権利」検討会が初会合
9月	東京都の社会福祉法人が都内2例目の赤ちゃんポスト開設計画を公表
12月	慈恵病院が2年間の内密出産事例を公表。累計21例に
24年 5月	「ゆりかご」の23年度の利用状況を公表。累計179人に

「こうのとりのゆりかご」第6期(2020・22年度)検証報告書要旨

熊本市の保健所(市東部地域保健会)の「こうのとりのゆりかご」専門部会が5日公表した第6期(2020・22年度)検証報告書要旨は次の通り。

【第1章 ゆりかごについて】
ゆりかごは熊本市の慈恵病院が17年1月に運用を開始し、子どもが預けられる児童相談所が、時保護し、成育歴などの情報を記録する。身元がわからない場合は「匿名」として登録される。

【第2章 ゆりかごの現状】
第6期の3年間に預けられた子どもは1人。自宅まで産み孤立出産が10件(68%)を占めた。預け入れ

た理由には生活困窮が最も多く割合は約2割。17年度は10人、18年度は10人、19年度は10人、20年度は10人、21年度は10人、22年度は10人、23年度は10人、24年度は10人、25年度は10人、26年度は10人、27年度は10人、28年度は10人、29年度は10人、30年度は10人、31年度は10人、32年度は10人、33年度は10人、34年度は10人、35年度は10人、36年度は10人、37年度は10人、38年度は10人、39年度は10人、40年度は10人、41年度は10人、42年度は10人、43年度は10人、44年度は10人、45年度は10人、46年度は10人、47年度は10人、48年度は10人、49年度は10人、50年度は10人、51年度は10人、52年度は10人、53年度は10人、54年度は10人、55年度は10人、56年度は10人、57年度は10人、58年度は10人、59年度は10人、60年度は10人、61年度は10人、62年度は10人、63年度は10人、64年度は10人、65年度は10人、66年度は10人、67年度は10人、68年度は10人、69年度は10人、70年度は10人、71年度は10人、72年度は10人、73年度は10人、74年度は10人、75年度は10人、76年度は10人、77年度は10人、78年度は10人、79年度は10人、80年度は10人、81年度は10人、82年度は10人、83年度は10人、84年度は10人、85年度は10人、86年度は10人、87年度は10人、88年度は10人、89年度は10人、90年度は10人、91年度は10人、92年度は10人、93年度は10人、94年度は10人、95年度は10人、96年度は10人、97年度は10人、98年度は10人、99年度は10人、100年度は10人、101年度は10人、102年度は10人、103年度は10人、104年度は10人、105年度は10人、106年度は10人、107年度は10人、108年度は10人、109年度は10人、110年度は10人、111年度は10人、112年度は10人、113年度は10人、114年度は10人、115年度は10人、116年度は10人、117年度は10人、118年度は10人、119年度は10人、120年度は10人、121年度は10人、122年度は10人、123年度は10人、124年度は10人、125年度は10人、126年度は10人、127年度は10人、128年度は10人、129年度は10人、130年度は10人、131年度は10人、132年度は10人、133年度は10人、134年度は10人、135年度は10人、136年度は10人、137年度は10人、138年度は10人、139年度は10人、140年度は10人、141年度は10人、142年度は10人、143年度は10人、144年度は10人、145年度は10人、146年度は10人、147年度は10人、148年度は10人、149年度は10人、150年度は10人、151年度は10人、152年度は10人、153年度は10人、154年度は10人、155年度は10人、156年度は10人、157年度は10人、158年度は10人、159年度は10人、160年度は10人、161年度は10人、162年度は10人、163年度は10人、164年度は10人、165年度は10人、166年度は10人、167年度は10人、168年度は10人、169年度は10人、170年度は10人、171年度は10人、172年度は10人、173年度は10人、174年度は10人、175年度は10人、176年度は10人、177年度は10人、178年度は10人、179年度は10人、180年度は10人、181年度は10人、182年度は10人、183年度は10人、184年度は10人、185年度は10人、186年度は10人、187年度は10人、188年度は10人、189年度は10人、190年度は10人、191年度は10人、192年度は10人、193年度は10人、194年度は10人、195年度は10人、196年度は10人、197年度は10人、198年度は10人、199年度は10人、200年度は10人、201年度は10人、202年度は10人、203年度は10人、204年度は10人、205年度は10人、206年度は10人、207年度は10人、208年度は10人、209年度は10人、210年度は10人、211年度は10人、212年度は10人、213年度は10人、214年度は10人、215年度は10人、216年度は10人、217年度は10人、218年度は10人、219年度は10人、220年度は10人、221年度は10人、222年度は10人、223年度は10人、224年度は10人、225年度は10人、226年度は10人、227年度は10人、228年度は10人、229年度は10人、230年度は10人、231年度は10人、232年度は10人、233年度は10人、234年度は10人、235年度は10人、236年度は10人、237年度は10人、238年度は10人、239年度は10人、240年度は10人、241年度は10人、242年度は10人、243年度は10人、244年度は10人、245年度は10人、246年度は10人、247年度は10人、248年度は10人、249年度は10人、250年度は10人、251年度は10人、252年度は10人、253年度は10人、254年度は10人、255年度は10人、256年度は10人、257年度は10人、258年度は10人、259年度は10人、260年度は10人、261年度は10人、262年度は10人、263年度は10人、264年度は10人、265年度は10人、266年度は10人、267年度は10人、268年度は10人、269年度は10人、270年度は10人、271年度は10人、272年度は10人、273年度は10人、274年度は10人、275年度は10人、276年度は10人、277年度は10人、278年度は10人、279年度は10人、280年度は10人、281年度は10人、282年度は10人、283年度は10人、284年度は10人、285年度は10人、286年度は10人、287年度は10人、288年度は10人、289年度は10人、290年度は10人、291年度は10人、292年度は10人、293年度は10人、294年度は10人、295年度は10人、296年度は10人、297年度は10人、298年度は10人、299年度は10人、300年度は10人、301年度は10人、302年度は10人、303年度は10人、304年度は10人、305年度は10人、306年度は10人、307年度は10人、308年度は10人、309年度は10人、310年度は10人、311年度は10人、312年度は10人、313年度は10人、314年度は10人、315年度は10人、316年度は10人、317年度は10人、318年度は10人、319年度は10人、320年度は10人、321年度は10人、322年度は10人、323年度は10人、324年度は10人、325年度は10人、326年度は10人、327年度は10人、328年度は10人、329年度は10人、330年度は10人、331年度は10人、332年度は10人、333年度は10人、334年度は10人、335年度は10人、336年度は10人、337年度は10人、338年度は10人、339年度は10人、340年度は10人、341年度は10人、342年度は10人、343年度は10人、344年度は10人、345年度は10人、346年度は10人、347年度は10人、348年度は10人、349年度は10人、350年度は10人、351年度は10人、352年度は10人、353年度は10人、354年度は10人、355年度は10人、356年度は10人、357年度は10人、358年度は10人、359年度は10人、360年度は10人、361年度は10人、362年度は10人、363年度は10人、364年度は10人、365年度は10人、366年度は10人、367年度は10人、368年度は10人、369年度は10人、370年度は10人、371年度は10人、372年度は10人、373年度は10人、374年度は10人、375年度は10人、376年度は10人、377年度は10人、378年度は10人、379年度は10人、380年度は10人、381年度は10人、382年度は10人、383年度は10人、384年度は10人、385年度は10人、386年度は10人、387年度は10人、388年度は10人、389年度は10人、390年度は10人、391年度は10人、392年度は10人、393年度は10人、394年度は10人、395年度は10人、396年度は10人、397年度は10人、398年度は10人、399年度は10人、400年度は10人、401年度は10人、402年度は10人、403年度は10人、404年度は10人、405年度は10人、406年度は10人、407年度は10人、408年度は10人、409年度は10人、410年度は10人、411年度は10人、412年度は10人、413年度は10人、414年度は10人、415年度は10人、416年度は10人、417年度は10人、418年度は10人、419年度は10人、420年度は10人、421年度は10人、422年度は10人、423年度は10人、424年度は10人、425年度は10人、426年度は10人、427年度は10人、428年度は10人、429年度は10人、430年度は10人、431年度は10人、432年度は10人、433年度は10人、434年度は10人、435年度は10人、436年度は10人、437年度は10人、438年度は10人、439年度は10人、440年度は10人、441年度は10人、442年度は10人、443年度は10人、444年度は10人、445年度は10人、446年度は10人、447年度は10人、448年度は10人、449年度は10人、450年度は10人、451年度は10人、452年度は10人、453年度は10人、454年度は10人、455年度は10人、456年度は10人、457年度は10人、458年度は10人、459年度は10人、460年度は10人、461年度は10人、462年度は10人、463年度は10人、464年度は10人、465年度は10人、466年度は10人、467年度は10人、468年度は10人、469年度は10人、470年度は10人、471年度は10人、472年度は10人、473年度は10人、474年度は10人、475年度は10人、476年度は10人、477年度は10人、478年度は10人、479年度は10人、480年度は10人、481年度は10人、482年度は10人、483年度は10人、484年度は10人、485年度は10人、486年度は10人、487年度は10人、488年度は10人、489年度は10人、490年度は10人、491年度は10人、492年度は10人、493年度は10人、494年度は10人、495年度は10人、496年度は10人、497年度は10人、498年度は10人、499年度は10人、500年度は10人、501年度は10人、502年度は10人、503年度は10人、504年度は10人、505年度は10人、506年度は10人、507年度は10人、508年度は10人、509年度は10人、510年度は10人、511年度は10人、512年度は10人、513年度は10人、514年度は10人、515年度は10人、516年度は10人、517年度は10人、518年度は10人、519年度は10人、520年度は10人、521年度は10人、522年度は10人、523年度は10人、524年度は10人、525年度は10人、526年度は10人、527年度は10人、528年度は10人、529年度は10人、530年度は10人、531年度は10人、532年度は10人、533年度は10人、534年度は10人、535年度は10人、536年度は10人、537年度は10人、538年度は10人、539年度は10人、540年度は10人、541年度は10人、542年度は10人、543年度は10人、544年度は10人、545年度は10人、546年度は10人、547年度は10人、548年度は10人、549年度は10人、550年度は10人、551年度は10人、552年度は10人、553年度は10人、554年度は10人、555年度は10人、556年度は10人、557年度は10人、558年度は10人、559年度は10人、560年度は10人、561年度は10人、562年度は10人、563年度は10人、564年度は10人、565年度は10人、566年度は10人、567年度は10人、568年度は10人、569年度は10人、570年度は10人、571年度は10人、572年度は10人、573年度は10人、574年度は10人、575年度は10人、576年度は10人、577年度は10人、578年度は10人、579年度は10人、580年度は10人、581年度は10人、582年度は10人、583年度は10人、584年度は10人、585年度は10人、586年度は10人、587年度は10人、588年度は10人、589年度は10人、590年度は10人、591年度は10人、592年度は10人、593年度は10人、594年度は10人、595年度は10人、596年度は10人、597年度は10人、598年度は10人、599年度は10人、600年度は10人、601年度は10人、602年度は10人、603年度は10人、604年度は10人、605年度は10人、606年度は10人、607年度は10人、608年度は10人、609年度は10人、610年度は10人、611年度は10人、612年度は10人、613年度は10人、614年度は10人、615年度は10人、616年度は10人、617年度は10人、618年度は10人、619年度は10人、620年度は10人、621年度は10人、622年度は10人、623年度は10人、624年度は10人、625年度は10人、626年度は10人、627年度は10人、628年度は10人、629年度は10人、630年度は10人、631年度は10人、632年度は10人、633年度は10人、634年度は10人、635年度は10人、636年度は10人、637年度は10人、638年度は10人、639年度は10人、640年度は10人、641年度は10人、642年度は10人、643年度は10人、644年度は10人、645年度は10人、646年度は10人、647年度は10人、648年度は10人、649年度は10人、650年度は10人、651年度は10人、652年度は10人、653年度は10人、654年度は10人、655年度は10人、656年度は10人、657年度は10人、658年度は10人、659年度は10人、660年度は10人、661年度は10人、662年度は10人、663年度は10人、664年度は10人、665年度は10人、666年度は10人、667年度は10人、668年度は10人、669年度は10人、670年度は10人、671年度は10人、672年度は10人、673年度は10人、674年度は10人、675年度は10人、676年度は10人、677年度は10人、678年度は10人、679年度は10人、680年度は10人、681年度は10人、682年度は10人、683年度は10人、684年度は10人、685年度は10人、686年度は10人、687年度は10人、688年度は10人、689年度は10人、690年度は10人、691年度は10人、692年度は10人、693年度は10人、694年度は10人、695年度は10人、696年度は10人、697年度は10人、698年度は10人、699年度は10人、700年度は10人、701年度は10人、702年度は10人、703年度は10人、704年度は10人、705年度は10人、706年度は10人、707年度は10人、708年度は10人、709年度は10人、710年度は10人、711年度は10人、712年度は10人、713年度は10人、714年度は10人、715年度は10人、716年度は10人、717年度は10人、718年度は10人、719年度は10人、720年度は10人、721年度は10人、722年度は10人、723年度は10人、724年度は10人、725年度は10人、726年度は10人、727年度は10人、728年度は10人、729年度は10人、730年度は10人、731年度は10人、732年度は10人、733年度は10人、734年度は10人、735年度は10人、736年度は10人、737年度は10人、738年度は10人、739年度は10人、740年度は10人、741年度は10人、742年度は10人、743年度は10人、744年度は10人、745年度は10人、746年度は10人、747年度は10人、748年度は10人、749年度は10人、750年度は10人、751年度は10人、752年度は10人、753年度は10人、754年度は10人、755年度は10人、756年度は10人、757年度は10人、758年度は10人、759年度は10人、760年度は10人、761年度は10人、762年度は10人、763年度は10人、764年度は10人、765年度は10人、766年度は10人、767年度は10人、768年度は10人、769年度は10人、770年度は10人、771年度は10人、772年度は10人、773年度は10人、774年度は10人、775年度は10人、776年度は10人、777年度は10人、778年度は10人、779年度は10人、780年度は10人、781年度は10人、782年度は10人、783年度は10人、784年度は10人、785年度は10人、786年度は10人、787年度は10人、788年度は10人、789年度は10人、790年度は10人、791年度は10人、792年度は10人、793年度は10人、794年度は10人、795年度は10人、796年度は10人、797年度は10人、798年度は10人、799年度は10人、800年度は10人、801年度は10人、802年度は10人、803年度は10人、804年度は10人、805年度は10人、806年度は10人、807年度は10人、808年度は10人、809年度は10人、810年度は10人、811年度は10人、812年度は10人、813年度は10人、814年度は10人、815年度は10人、816年度は10人、817年度は10人、818年度は10人、819年度は10人、820年度は10人、821年度は10人、822年度は10人、823年度は10人、824年度は10人、825年度は10人、826年度は10人、827年度は10人、828年度は10人、829年度は10人、830年度は10人、831年度は10人、832年度は10人、833年度は10人、834年度は10人、835年度は10人、836年度は10人、837年度は10人、838年度は10人、839年度は10人、840年度は10人、841年度は10人、842年度は10人、843年度は10人、844年度は10人、845年度は10人、846年度は10人、847年度は10人、848年度は10人、849年度は10人、850年度は10人、851年度は10人、852年度は10人、853年度は10人、854年度は10人、855年度は10人、856年度は10人、857年度は10人、858年度は10人、859年度は10人、860年度は10人、861年度は10人、862年度は10人、863年度は10人、864年度は10人、865年度は10人、866年度は10人、867年度は10人、868年度は10人、869年度は10人、870年度は10人、871年度は10人、872年度は10人、873年度は10人、874年度は10人、875年度は10人、876年度は10人、877年度は10人、878年度は10人、879年度は10人、880年度は10人、881年度は10人、882年度は10人、883年度は10人、884年度は10人、885年度は10人、886年度は10人、887年度は10人、888年度は10人、889年度は10人、890年度は10人、891年度は10人、892年度は10人、893年度は10人、894年度は10人、895年度は10人、896年度は10人、897年度は10人、898年度は10人、899年度は10人、900年度は10人、901年度は10人、902年度は10人、903年度は10人、904年度は10人、905年度は10人、906年度は10人、907年度は10人、908年度は10人、909年度は10人、910年度は10人、911年度は10人、912年度は10人、913年度は10人、914年度は10人、915年度は10人、916年度は10人、917年度は10人、918年度は10人、919年度は10人、920年度は10人、921年度は10人、922年度は10人、923年度は10人、924年度は10人、925年度は10人、926年度は10人、927年度は10人、928年度は10人、929年度は10人、930年度は10人、931年度は10人、932年度は10人、933年度は10人、934年度は10人、935年度は10人、936年度は10人、937年度は10人、938年度は10人、939年度は10人、940年度は10人、941年度は10人、942年度は10人、943年度は10人、944年度は10人、945年度は10人、946年度は10人、947年度は10人、948年度は10人、949年度は10人、950年度は10人、951年度は10人、952年度は10人、953年度は10人、954年度は10人、955年度は10人、956年度は10人、957年度は10人、958年度は10人、959年度は10人、960年度は10人、961年度は10人、962年度は10人、963年度は10人、964年度は10人、965年度は10人、966年度は10人、967年度は10人、968年度は10人、969年度は10人、970年度は10人、971年度は10人、972年度は10人、973年度は10人、974年度は10人、975年度は10人、976年度は10人、977年度は10人、978年度は10人、979年度は10人、980年度は10人、981年度は10人、982年度は10人、983年度は10人、984年度は10人、985年度は10人、986年度は10人、987年度は10人、988年度は10人、989年度は10人、990年度は10人、991年度は10人、992年度は10人、993年度は10人、994年度は10人、995年度は10人、996年度は10人、997年度は10人、998年度は10人、999年度は10人、1000年度は10人、1001年度は10人、1002年度は10人、1003年度は10人、1004年度は10人、1005年度は10人、1006年度は10人、1007年度は10人、1008年度は10人、1009年度は10人、1010年度は10人、1011年度は10人、1012年度は10人、1013年度は10人、1014年度は10人、1015年度は10人、1016年度は10人、1017年度は10人、1018年度は10人、1019年度は10人、1020年度は10人、1021年度は10人、1022年度は10人、1023年度は10人、1024年度は10人、1025年度は10人、1026年度は10人、1027年度は10人、1028年度は10人、1029年度は10人、1030年度は10人、1031年度は10人、1032年度は10人、1033年度は10人、1034年度は10人、1035年度は10人、1036年度は10人、1037年度は10人、1038年度は10人、1039年度は10人、1040年度は10人、1041年度は10人、1042年度は10人、1043年度は10人、1044年度は10人、1045年度は10人、1046年度は10人、1047年度は10人、1048年度は10人、1049年度は10人、1050年度は10人、1051年度は10人、1052年度は10人、1053年度は10人、1054年度は10人、1055年度は10人、1056年度は10人、1057年度は10人、1058年度は10人、1059年度は10人、1060年度は10人、1061年度は10人、1062年度は10人、1063年度は10人、1064年度は10人、1065年度は10人、1066年度は10人、1067年度は10人、1068年度は10人、1069年度は10人、1070年度は10人、1071年度は10人、1072年度は10人、1073年度は10人、1074年度は10人、1075年度は10人、1076年度は10人、1077年度は10人、1078年度は10人、1079年度は10人、1080年度は10人、1081年度は10人、1082年度は10人、1083年度は10人、1084年度は10人、1085年度は10人、1086年度は10人、1087年度は10人、1088年度は10人、1089年度は10人、1090年度は10人、1091年度は10人、1092年度は10人、1093年度は10人、1094年度は10人、1095年度は10人、1096年度は10人、1097年度は10人、1098年度は10人、1099年度は10人、1100年度は10人、1101年度は10人、1102年度は10人、1103年度は10人、1104年度は10人、1105年度は10人、1106年度は10人、1107年度は10人、1108年度は10人、1109年度は10人、1110年度は10人、1111年度は10人、1112年度は10人、1113年度は10人、1114年度は10人、1115年度は10人、1116年度は10人、1117年度は10人、1118年度は10人、1119年度は10人、1120年度は10人、1121年度は10人、1122年度は10人、1123年度は10人、1124年度は10人、1125年度は10人、1126年度は10人、1127年度は10人、1128年度は10人、1129年度は10人、1130年度は10人、1131年度は10人、1132年度は10人、1133

中期検証から①

- ◆ 22年度までの170人のうち、135人が身元判明。身元不明は35人
- ◆ 養育環境は特別養子縁組が最多（身元判明の63人、不明の24人で成立）
- ◆ 医療関係者が立ち会わない孤立出産は第6期中に預けられた15人中10人（66%）

中期検証から見える課題

- ◆ 孤立出産の割合が高く危険
- ◆ 母親の一連の行動がセッ卜 予期 ない妊娠～孤立出産～子どもの存在を周囲に隠した状況での就労・日常生活～長距離移動)
- ◆ 預け入れ者が病院のみに身元情報を明かした事例が複数あった一病院での身元情報の管理規定が必要
- ◆ 実親のアレルギーや子どもの体質、病歴などの情報が子どもの健やかな成長にとっては必要

今後の対応策

【慈恵病院】

- ・相談業務の充実、預け入れ者への積極的な接触の努力。
病歴などの情報収集を

【熊本市】

- ・身元判明の調査の徹底。「出自を知る権利」検討会での、
実母の身元情報の取り扱い検討

【国】

- ・身元情報などの国機関での継続的かつ安全な場所での
保管や、内密出産の検討

取材は続く...

- ◆「母親の匿名性」と「子どもの出自を知る権利」を両立させる支援のあり方は
- ◆「ゆりかご」「内密出産」の法整備の必要性は

予期せぬ妊娠は今後 もなくなることはない
目指すのは「ゆかご」が必要とされない社会



ご清聴、ありがとうございました